

平成22年度決算について

本州四国連絡高速道路株式会社の平成22年度(第6期)決算についてお知らせします。

1. 決算概要

2. 決算資料

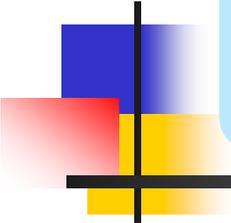
[個別決算]

- ・ 事業報告
- ・ 貸借対照表
- ・ 損益計算書
- ・ 株主資本等変動計算書
- ・ 個別注記表
- ・ 附属明細書

[連結決算]

- ・ 連結貸借対照表
- ・ 連結損益計算書
- ・ 連結株主資本等変動計算書
- ・ 連結注記表

平成23年6月10日
本州四国連絡高速道路株式会社



平成22事業年度決算概要

(平成22年4月1日～平成23年3月31日まで)

- 平成22事業年度事業概要
- 平成22事業年度経営及び財政状況(連結・個別)
- 平成23事業年度業績見通し(連結・個別)

事業概要(高速道路事業)

お客様に[安全] [安心] [快適]に利用していただけるよう、円滑に業務を実施しました。

- 当期の通行台数は38百万台(前年比2%増)、料金収入は557億円(前年比4%増)となりました。
- 道路資産賃借料366億円を機構に支払い、着実に債務の償還を行っています。
- 利便増進計画による大幅な割引制度を実施しました。
- 長大橋塗替塗装や橋梁耐震補強などの万全の維持管理を実施しました。
- 舗装の重点的な補修や橋梁コンクリートの剥落防止対策などの適切な維持補修を実施しました。
- 地球温暖化防止の取組みとして、淡路SA(上り)に太陽光発電パネルを設置しました。

舗装補修後(高機能舗装)



橋梁耐震補強(機構資産)



太陽光発電パネル



事業概要(関連事業)

- お客様サービス向上のため、SA・PA施設の整備・拡充及び混雑対策等を実施しました。
 - 鴻ノ池SA(上下)休憩施設のリニューアル
 - 淡路SA(上り)に「恋人の聖地」モニュメントを設置
 - SA・PAに仮設トイレの設置、駐車場に交通整理員を配置(混雑期)

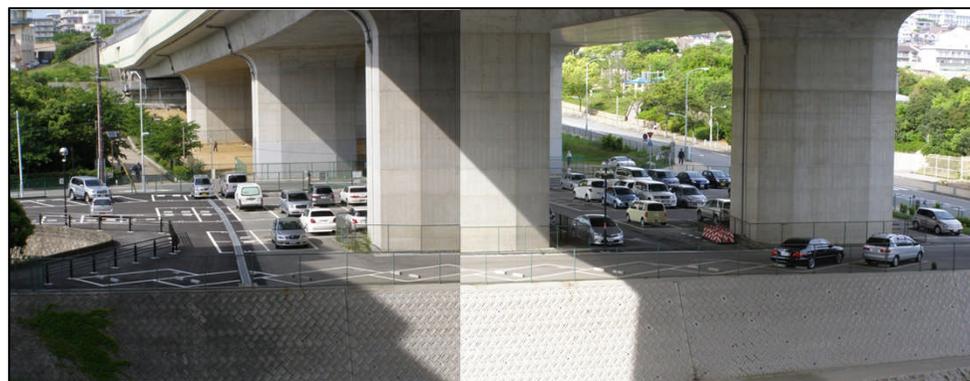
- 長大橋の建設・管理技術を活用して、地方公共団体等から長大橋の施工検討、技術支援業務等を受託しました。

- 地域の利便性向上のため、舞子高架橋下駐車場の増設を実施しました。

混雑期対策(仮設トイレ・交通整理)



舞子高架橋下駐車場の増設



経営状況の総括

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

連結決算における経常利益は10億円、特別損失(2億円)・法人税等を加減した結果、当期純利益は3億円となりました。

単位:億円

	連結決算				個別決算			
	平成22年度	平成21年度	増()減	前年比 (%)	平成22年度	平成21年度	増()減	前年比 (%)
営業収益	642	629	13	2.1	625	612	13	2.2
営業費用	634	620	14	2.2	621	607	13	2.1
営業利益	8	9	0.6	7.1	4	4	0.3	8.3
経常利益	10	11	0.4	4.1	6	5	0.4	8.4
当期純利益	3	7	3	52.7	0.5	3	3	86.0

[連結対象子会社]

会社名	主な事業
JBハイウェイサービス(株)	料金收受管理、交通管理、SA・PA事業等
(株)ブリッジ・エンジニアリング	点検管理、長大橋維持修繕等
JBトールシステム(株)	料金收受機械保守整備、料金収入・交通量のデータ管理等

高速道路事業の損益状況

- 料金収入(557億円)及び道路資産売上高(51億円)などの営業収益610億円に対し、道路資産賃借料(366億円)、道路資産完成原価(51億円)及び管理費用(189億円)の営業費用が607億円となり、営業利益は2億円となりました。

単位:億円

	連結決算				個別決算			
	平成22年度	平成21年度	増()減	前年比 (%)	平成22年度	平成21年度	増()減	前年比 (%)
営業収益	610	591	18	3.1	610	591	18	3.1
料金収入	557	535	21	4.0	557	535	21	4.0
道路資産完成高	51	53	2	4.0	51	53	2	4.0
その他の売上高	1	1	0.3	16.1	1	1	0.2	14.4
営業費用	607	588	19	3.2	606	587	18	3.1
道路資産賃借料	366	358	8	2.3	366	358	8	2.3
道路資産完成原価	51	53	2	4.0	51	53	2	4.0
管理費用	189	176	12	7.3	187	175	12	6.9
営業利益	2	3	0.4	14.5	3	3	0.4	12.3

関連事業の損益状況

- SA・PA事業収入(14億円)及び受託事業等収入(17億円)などの営業収益32億円に対し、SA・PA事業費用(10億円)及び受託事業等費用(16億円)の営業費用が26億円となり、営業利益は5億円となりました。

単位:億円

	連結決算				個別決算			
	平成22年度	平成21年度	増()減	前年比 (%)	平成22年度	平成21年度	増()減	前年比 (%)
営業収益	32	37	5	14.1	15	21	5	25.2
休憩所等事業	14	14	0.5	3.9	3	3	0.02	0.7
受託事業等	17	23	5	25.2	11	17	5	30.9
営業費用	26	31	5	16.0	14	20	5	26.3
休憩所等事業	10	9	0.4	4.6	2	2	0.1	4.6
受託事業等	16	21	5	25.4	11	17	5	30.0
営業利益	5	5	0.2	4.0	1	1	0.04	4.3
休憩所等事業	4	4	0.1	2.3	0.9	0.8	0.1	20.5
受託事業等	1	1	0.3	22.5	0.02	0.2	0.2	89.0

資産・負債の状況

- 高速道路事業については、ETC設備の増設及び料金収受機械設備等を更新しました。
- 関連事業については、鴻ノ池SA(上下)休憩施設のリニューアル、恋人の聖地モニュメントの設置等を実施しました。
- 経営基盤強化のため、遊休資産を売却しました。
- 資産の総額447億円に対し、負債の総額は306億円となり、純資産の総額は、前年度末から3億円増加した140億円となりました。

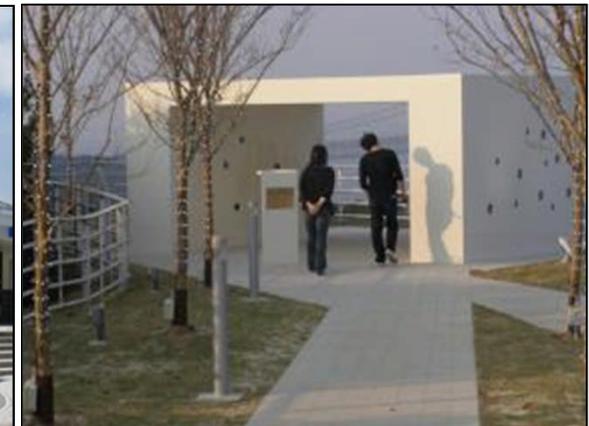
ETC設備増設(鳴門IC)



鴻ノ池SA(下り)休憩施設



恋人の聖地(淡路SA)



財政状況(貸借対照表)

(平成23年3月31日現在)

単位:億円

区 分	連結決算			個別決算		
	平成22年度	平成21年度	増()減	平成22年度	平成21年度	増()減
資 産	447	432	14	392	383	9
流動資産	214	180	33	195	167	28
固定資産	233	252	19	197	216	19
負 債	306	295	11	267	259	8
流動負債	97	84	12	86	76	9
固定負債	209	210	0.8	181	182	0.6
純資産	140	137	3	125	124	0.5
株 主 資 本	140	137	3	125	124	0.5
資 本 金	40	40	—	40	40	—
資本準備金	40	40	—	40	40	—
利益剰余金	60	57	3	45	44	0.5
(負債・純資産合計)	447	432	14	392	383	9

平成23事業年度業績見通しについて

平成23事業年度は、連結で3億円、個別で0.4億円の利益を見込んでおります。

単位:億円

	連結見通し			個別見通し		
	平成23年度	平成22年度決算	増()減	平成23年度	平成22年度決算	増()減
営業収益	637	642	6	622	625	3
高速道路事業	596	610	14	596	610	14
関連事業(うち休憩所等事業)	41(14)	32(14)	8(0.4)	26(3.8)	15(3.7)	10(0.01)
営業費用	632	634	2	621	621	0.1
高速道路事業	596	607	11	596	606	10
関連事業(うち休憩所等事業)	36(11)	26(10)	9(0.7)	25(3)	14(2)	10(0.5)
営業利益	5	8	3	0.8	4	3.8
高速道路事業	0.1	2	2	0.1	3	3.5
関連事業(うち休憩所等事業)	4(3)	5(4)	1(1)	0.7(0.4)	1(0.9)	0.3(0.5)
経常利益	6	10	5	0.7	6	5.3
当期純利益	3	3	0.2	0.4	0.5	0.1

年度業績見通しについては、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものです。したがって、実際の業績は、様々な要因によって異なる場合があります。